



女性学研究センター年次報告・2017年度

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-05-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/15953

女性学研究センター年次報告・2017年度

1. 運営体制

所 長 牧岡省吾（人間社会システム科学研究科長）

主 任 村田京子

副主任 伊田久美子、東優子

「女性学研究」編集委員長 熊安貴美江

「女性学研究」編集委員 児島亜紀子

その他共同研究員 青木賜鶴子、上村隆広、工藤宏司、田間泰子、福田珠己、堀江珠喜、宮脇幸生、山中京子

学外研究員 足立真理子（お茶の水女子大学）、高岡尚子（奈良女子大学）、福永真弓（東京大学）、古久保さくら（大阪市立大学）、阿久澤麻理子（大阪市立大学）、浅井美智子（元大阪府立大学教授）

運営委員（所長・主任・副主任のほか）

真嶋由貴恵（現代システム科学専攻）、ケイン・ケビン（言語文化学専攻）、酒井隆史（人間科学専攻）、児島亜紀子（社会福祉学専攻）

事務職員 （前期）杉本和子、藤田朋子 （後期）伊藤ゆきこ

2. 授業

・大学院科目

「ジェンダー論特論 1 A」「同 1 B」（半期各 2 単位。伊田久美子）

「同 2 A」「同 2 B」（半期各 2 単位。田間泰子）

「同 3 A」「同 3 B」（半期各 2 単位。東優子）

「ジェンダー社会学特論」（半期 2 単位。田間泰子）

「ジェンダー文化特論 A」「同 B」（半期各 2 単位。村田京子）

・専門科目（現代システム科学域、地域保健学域）

「ジェンダーと社会」（半期 2 単位。伊田久美子）

「ジェンダーと教育」(半期2単位。今井貴代子)

「家族社会学」(半期2単位。田間泰子)

「教育福祉の諸問題B(性と人権)」(半期2単位。東優子)

「ケアリング論」(半期2単位。児島亜紀子他)

• 教養科目(機構提供科目)

「ジェンダー論への招待」(前期2単位。伊田久美子・浅井美智子・熊安貴美江・福田珠己・山中京子・宮脇幸生・上村隆広・大森順子(ゲスト)・田間泰子)

「ジェンダーとヨーロッパ文化」(半期2単位。村田京子)

「ジェンダーと日本文化」(半期2単位。青木賜鶴子)

3. 第21期女性学講演会 第1部

女性学連続講演会・連続セミナー

「教育とジェンダーをめぐるポリティクス」

共通テーマにより、講演会およびセミナーを3回(10月28日、11月11日、12月9日)にわたって実施。

主催：女性学研究センター

コーディネーター：熊安貴美江(大阪府立大学准教授)

第1回 「学校体育とジェンダー・ポリティクス」

講師：井谷恵子(京都教育大学教授)

第2回 「教育における「男子問題」の諸相」

講師：多賀太(関西大学教授)

第3回 「ジェンダー／セクシュアリティの教育と家族」

講師：山田綾(四天王寺大学教授)

4. 第21期女性学講演会 第2部

「文学とジェンダー」(12月2日／12月16日)

第1回 「童話に学ぶ? アンチエイジング——女には「美」男には「力」を求める物語?」

講師：堀江珠喜(大阪府立大学教授)

第2回 「「男らしさ」とは？」

- ・「19世紀フランス文学・絵画における両性具有的存在——男らしさ」の観点から——」

講師：村田京子（大阪府立大学教授、女性学研究センター主任）

- ・「19世紀における囚人たちの「男らしさ」——隠語、文学、医学書から——」

講師：梅澤礼（富山大学准教授）

＊第2回は、大阪府立大学人間社会システム科学研究科「文学とジェンダー」共同研究プロジェクト共催

5. 男女共同参画事業

共同セミナー「女性の人権と複合差別 経験のちがいと重なりを考える」
（9月22日、29日開催。於大阪市立大学 文化交流センター。）

第1回 「民族、国籍とジェンダー」

講師：高畑幸（静岡県立大学）

討論者：金友子〈キム・ウヂャ〉（立命館大学）

コーディネーター：阿久澤麻理子（大阪市立大学）

朴君愛〈パク・クネ〉（ヒューライツ大阪）

第2回 「障がいとジェンダー」

講師：加納恵子（関西大学）

討論者：松波めぐみ（世界人権問題研究センター）

コーディネーター：伊田久美子（大阪府立大学）

古久保さくら（大阪市立大学）

＊大阪市立大学人権問題研究センター、一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪）との共催

6. 図書・文献資料の収集

例年どおり、外国語文献資料ならびに新刊邦語文献を中心に収集した。
諸雑誌の購読も継続している。

7. その他

[後援事業]

- 日本フェミニスト経済学会 2017年度大会
「アベノミクスのジェンダー分析 税財政・金融緩和・雇用・「外国人」人材」からみる」（7月8日開催。於お茶の水女子大学。）
- 特別シンポジウム「SOGI（性的指向・性自認）の多様性と学生支援について～なぜ今、大学の取組が必要なのか？～」
（7月18日開催。於大阪府立大学中百舌鳥キャンパス。）
* 大阪府立大学学生委員会主催
- 日本性科学会第37回学術集会「セクシュアリティと教育・福祉・医療の交錯」（10月15日開催。於大阪府立大学 I-siteなんば。）

[教員免許状更新講習会]

- 「ジェンダー論入門」（8月9日開催。於大阪府立大学中百舌鳥キャンパス。）
伊田久美子：「労働と家族の問題」
村田京子：「ペロー童話・グリム童話をジェンダーの視点で読む」
熊安貴美江：「スポーツにおけるハラスメントの問題」

[ポスター展示]

- ダイバーシティ中間総括シンポジウム（11月17日開催。於大阪府立大学中百舌鳥キャンパス。）
* 大阪府立大学ダイバーシティ研究環境研究所主催

* * *

今年度も無事に予定の事業を終了できました。みなさまのご協力に心より感謝申し上げます。前年度に引き続き、女性学・ジェンダー研究の推進

による男女共同参画社会の実現をめざす活動に、学内外の諸機関等と連携しながら取り組んでまいりました。

男女共同参画事業では、大阪市立大学、アジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪）との共同セミナー「女性の人権と複合差別 経験のちがいと重なりを考える」を2日間にわたり、開催しました。今回は平日の夜の開催でしたが、両日とも70名近い多くの参加をいただきました。様々なマイノリティの中のジェンダー格差、そして女性の間のマイノリティ問題への関心はとても高く、今後の継続的取り組みを目指すことになりました。セミナー記録はヒューライツ大阪のホームページに掲載されます。

また連続講演会では、学校教育に焦点を当て、体育、男子問題、家族をテーマにとりあげ、ジェンダーをめぐる権力作用について考えました。平成元年（1989年）に男女平等カリキュラムが導入されて以来、約30年が経過しますが、今もなお学校の内外では見えない権力作用がはたらき続け、ジェンダーを再生産しています。国家による教育への干渉や介入が深刻化している現在、ますますこのような問題意識を共有し、議論を展開していく必要を痛感しています。

女性学講演会「文学とジェンダー」では、第1回は童話における女性像、男性像に関する考察を行い、第2回は19世紀フランス文学を通して「男らしさ」とは何か、を問うと同時に、「男らしさ」の範疇に外れた存在がどのように描かれているのかを探りました。どちらの講演の内容も時代、国が違うとはいえ、現代日本における「女らしさ」「男らしさ」の概念への問題提起となっていることを改めて認識しました。

さらに「教員免許状更新講習会」では、小・中・高校の教員30名を対象に「ジェンダー論入門」の授業を担当し、様々なトピックをジェンダーの視点から考察しました。最後に参加者たちとのディスカッションを行い、初等・中等教育に携わる教員の貴重な意見を伺うことができました。

本誌への投稿はますます増えていますが、熊安貴美江編集長、児島亜紀子編集委員の下、共同研究員のみなさまに査読のご協力をいただき、今年度も無事3本を掲載することができました。温かく厳しいご指導に感謝申

し上げます。

おかげさまで、ジェンダーは本学教育研究の特色のひとつであるといえる実績を積み重ねてきていると自負しております。今後ともセンターの活動へのご注目をよろしくお願いいたします。

女性学研究センター

主 任 村田京子

副主任 伊田久美子、東優子